

事務事業名	脱炭素社会構築推進事業		所属部	市民環境部	所属課	環境政策課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	環境政策グループ	課長名 金山 雄児
	施策名	〈10〉環境の保全・創造		担当者名	松蔭 佳子	電話番号:0854-40-1033 (内線):2125
	目的・対象	市民	意図	地域環境を守り、地球環境に配慮した生活をおくる。		
	基本事業	〈031〉温室効果ガス削減の推進		予 算 科 目	0:1:2:0:0:1 0:5:4:5:0:7	大 事 業 名 中 事 業 名 環境保全事業 脱炭素社会構築推進事業
目的・対象	市民	意図	温室効果ガスの排出量を削減する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民・事業者・行政	2050年までに脱炭素社会の実現をめざす
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返( R4 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	市民・事業者・行政等関係者がお互いに学びあい協力連携を図りながら、持続可能な地球環境を未来に引き継ぐため、2050年を目標に脱炭素社会実現に向けた様々な取組みにチャレンジし、成果を上げる
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・部局横断で、全庁体制での取り組み ・雲南市脱炭素実現計画(骨子)策定業務 ・環境フォーラム、環境会議の開催 ・ごみの減量化の取組み(勉強会とキエーロコンポストづくり)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) R4年度実施事業

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
ア エネルギー使用量:市長部局	KL	3,666.0	3,690.0	取りまとめ中	35 00
イ エネルギー使用量:教育委員会	KL	935.0	1,194.0	取りまとめ中	1,000.0
ウ 環境フォーラム等参加者数(延べ人数)	人			766.0	800.0
エ 環境啓発連携団体	団体			25.0	25.0

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
報償費	200千円	財源内訳	国庫支出金	千円				14,905
旅費	742千円		県支出金	千円				
需用費	73千円		地方債	千円				
役務費	1千円		その他	千円	32	6	9,255	7,258
委託料	8,198千円		一般財源	千円				
使用料	41千円	事業費計		千円	32	6	9,255	22,163
その他:地域振興基金	合計9,255千円							

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部局横断による全庁体制で取り組みを行った</li> <li>・雲南市脱炭素社会実現計画のための、現状調査、分析を行い、骨子(案)を策定</li> <li>・市民・事業者と一緒に、環境に関する会議や実践の取り組みを実施</li> </ul>
② 事業実施するうえでの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や事業者、行政が一丸となって脱炭素に取り組む機運の醸成</li> <li>・市民や事業者が主体的に取り組めるよう、サポート体制等のしくみづくりが必要</li> </ul>
③ 課題解決に向けた改革改善等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や事業者のニーズを把握</li> <li>・脱炭素に関する学習会等を開催し、意識の醸成を図る</li> <li>・具体的な取り組みや目標を定めた、ロードマップの作成</li> </ul>